

未来に夢が持てるまちへ

倉成淳市長は、6月3日の市議会6月定例会で、本年度の市政運営の基本となる施政方針を述べました。その概要を紹介します。

岡本庁政策企画課（☎34-2125）

「市民に寄り添う市政」の旗印の下、奥州市長の重責を担うこととなりました。市民の期待の大きさとその責任の重さに身の引き締まる思いであり、今後、市民に寄り添いながら、新しい奥州市を作り上げるため、全力で取り組んでまいります。

直面する課題への 取り組みと決意

市が直面している課題は人口減少だと考えています。この課題解決に向け、次の三つの視点をもって取り組みを進めてまいります。

一つ目は、市民の健全な危機意識を醸成することです。現状を正しく伝え、市民が持つ潜在的な課題解決を引き出すことが不可欠です。

二つ目は、今の時代に合った地域コミュニティをつくることです。地域の特徴を生かした地域コミュニティづくりを促し、行政がそれに寄り添うことが重要です。

三つ目は、財政支出の優先順位を付けることです。子育て世代への施

策を優先しながら、高齢者に対する施策にも配慮してまいります。

また、社会情勢の変化や技術革新に対応し、市政や地域の在り方を変えていくため、市長直轄のプロジェクトチームとして「寄り添う奥州会議プロジェクト」を立ち上げ、次の三つの戦略プランの実現に向けて取り組みを進めてまいります。

一つ目は、将来の医療体制のグラインドデザインを描くことです。市民が必要な時に受診できる医療施設と、より高度で専門的な診療を受けられる高次医療施設との連携を図るため、市内の五つの市立医療施設は維持します。その上で、医療施設の機能分化を図りつつ、迅速かつ適切に医療を行える地域医療ネットワークを構築していく必要があります。

二つ目は、地域性を踏まえた小さな拠点づくりとネットワーク化です。地域の医療機関や総合支所、地区センターなどの拠点到デジタル技術を活用し、生活圏域の拠点としての機

能強化を検討してまいります。

三つ目は、DX（※1）の推進です。さまざまな分野のデジタル技術を総合的に組み合わせ、新しい地域づくりのモデルを作り上げてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策については、感染対策や生活支援への取り組み、地域経済の下支えとなる対策を講じ、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図ってまいります。

6月からは4回目のワクチン接種もスタートしました。今後も市民の生命と生活を守るため、医療機関との連携の下、接種を進めてまいります。財政基盤の確立については、行政経営改革プランに基づき、公共施設マネジメントの強化と施設配置の適正化、収支均衡を目指す財政健全化の実行などに取り組んでまいります。

未来への投資に必要な財源を確保するためにも、財政健全化の重点的取り組みを継続し、デジタル技術の活用など新たな取り組みも加え、改革を推進してまいります。

誇りと夢が持てる まちづくりのために

感染症の拡大や物価の高騰など、

奥州を担う人づくりを実現

高橋勝教育長は、6月3日の市議会6月定例会で、本年度の教育行政方針を述べました。その概要を紹介します。

岡市教育委員会事務局教育総務課（江刺総合支所・☎34-1319）

教育活動における感染症対策を一層徹底し、ICT（※2）を活用した学習指導なども行いながら、児童生徒の健康、安全を第一に、学びの機会の提供に努めてまいります。教育を取り巻く社会環境は、急激にそ

して多様に変化してきており、教育振興基本計画に掲げる「新しい奥州を担う人づくり」の実現に向けて、教育行政を推進してまいります。

未来を拓く人材を育てるため、本市の伝統である「学ぶこと」を念頭に置き、「知育・徳育・体育」の推進のため、学校教育の充実などに、きめ細かな施策を展開します。

「生きる力」を育む 学校教育の充実

4年度 の教育指導は、「人間関係づくりと同僚性を大切にした教育の推進」「心の教育による『豊かな心』の育成」「家庭・地域との協働による学校経営の充実」「岩手で、世界で活躍する人材の育成を土台とし、「確かな学力の保障」「不登校・いじ

めの防止」「就学前教育の充実」「特別支援教育の充実」の4点を柱として重点的に取り組みます。

耐震改修については計画的に実施し、水沢中学校改築事業の設計業務を進め、教育施設のトイレの洋式化、冷暖房施設の改修などを進めます。

老朽化した教育施設および学校給食施設については、改築や改修を計画的に行うこととし、4年度は、（仮称）奥州西学校給食センター新築の設計業者選定などを進めます。また、江刺ひがし小学校の開校準備など再編事務を進めてまいります。

次代をつむぐ 歴史遺産の保存と活用

文化財は、地域社会の活性化や魅力ある郷土づくり、市民の学習活動における資源でもあります。文化財保存活用地域計画の策定に着手するとともに、市民、特に未来を担う子どもたちが郷土の歴史を学び、理解して誇りを持つことができるよう、その基本となる歴史遺産の調査研究

を進めます。

子どもは希望であり宝 教育の発展に全力を尽くす

本格的な人口減少やデジタル化など、子どもたちの未来と教育をめぐる環境は大きく変容しております。自分の夢や希望に向かって力強く進んでいこうとする奥州の子どもたちは、私たちにとっての希望であり、宝です。自ら学び考え、必要な知識、能力を身に付け、行動する子どもの育成に全力で取り組みます。

「学ぶことが奥州市の伝統であり未来である」とする本市教育行政の基本理念の下、子どもたちが、変化の時代をたくましく生き抜く力を身に付けることができるよう、教育の発展に向けて全力で取り組みます。

※1 デジタル・トランスフォーメーション。情報通信技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること

※2 アイシーティー。コンピューターやインターネットなど情報・通信に関連する技術一般の総称

